

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		010203020100		事業の種類		4	
年度	2	事務事業名	相生市奨学金事業	予算事業名	相生市奨学金事業		優先度	3	
まちづくり目標			健やかな成長と人間力をのばせるまち	担当部局名	教育委員会教育管理課				
施策名(中)			安心して学べる教育環境をつくる	担当課長	佐原 正樹		担当者名	松本 千華	
取組み事項			教育の機会均等を確保する	実施計画への記載		無	主要事業の指定		無
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規			市奨学金基金条例、市奨学金支給規則						
事業の目的	誰のために(具体的に)		修学の意欲と能力があるにも関わらず、経済的理由により修学することが困難な生徒の保護者						
	誰(何)を対象として		進学または進級に係る支度金						
	意図(どのような状態にしたいのか)		ひとしく高等学校等で教育を受ける機会を与える。						
事業の全体年度			事業着手年度		(年度)	事業完了予定年度		(年度)	

2 事業の概要 Do

実施の概要		高等学校等に在籍するもののうち、能力があるにもかかわらず、経済的理由により修学困難な者への進学または進級の支度金として35,000円を援助する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度計画	
	申請者数	人	29	17	21		
	認定者数	人	25	16	18		

3 投入資源

3 投入資源		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	3年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	0.030	100	
	参事以下職員	0.124	0.124	100	0.120	97		0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,291,556	1,291,069	100	1,183,320	92	357,960	30	
	事業費	875,000	560,000	64	630,000	113		0	
	合計	2,166,556	1,851,069	85	1,813,320	98	357,960	20	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他	875,000	560,000	64	630,000	113		0	
	一般財源	2,166,556	1,291,069	60	1,183,320	92	357,960	30	
	合計	2,166,556	1,851,069	85	1,813,320	98	357,960	20	

※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
項目		30年度	1年度	2年度	3年度
全体進捗率	事業費累計				
	進捗率				

4 評価指標

[有効性]

指標名1		奨学生の認定割合							
指標説明(式)		申請者に対する認定者数の割合							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
%	目標	100	100	100.0	100	100.0		0.0	
	実績	86.2	94.1	109.2	85.7	91.1			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		奨学金の周知方法							
指標説明(式)		奨学金制度を周知するための方法							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
種類	目標	5	5	100.0	5	100.0		0.0	
	実績	5	5	100.0	5	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	学習意欲があるにも関わらず、経済的理由により修学することが困難な者への援助は必要である。	5
	市民ニーズ	負担の大きい高校進学進級時の支度金を対象にする制度であることから、保護者ニーズが高い。	
有効性	成果目標(改善)達成度	修学意欲と能力のある生徒への援助幅を広げるため、認定基準の見直しを行っている。	4
	市民サービス	学力要件を設けることで、目的に合致する対象者にサービスが提供できている。	
効率性	執行体制の効率性	成績点と申請世帯の収入状況を示す生活点を考え合わせ、教育委員会に提案し議決することにより奨学生を決定する手段は最適である。	4
	手段の最適性	広報紙、HP、リーフレットに加えて中学校や近隣高校に事業案内を行い、必要な人が知ることができるように努めている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	申請数が横ばいとなっているのは、制度の周知も一要因として考えられる。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	中学3年時の周知強化を検討する。

配点	32.5
総合評価	25.5

(2) 4年度以降の改革改善内容

区分	内容				
重点事項	国・県の奨学金制度を注視する。				
見直事項					
新規事項					
方向	継続	成果	維持	総コスト	維持